

だい き とよなかしがいこくじんしみんかいぎほうこく 第7期豊中市外国人市民会議報告

がいようばん (概要版)

とよなかし がいこくじん しみん こえ しせい い へいせい ねん ねん がつ がいこく
豊中市では、外国人市民の声を市政に活かすために、平成17年(2005年)7月に「外国
じん しみんかいぎ すたーと こんかい がいこくじん しみんかいぎ きめ がいこくじん
人市民会議」をスタートさせました。今回の外国人市民会議で7期目になります。外国人
しみん にん いいん へいせい ねん ねん がつ ねんかん かい いけん
市民9人が委員として、平成29年(2017年)7月からおよそ2年間、5回にわたって意見
こうかん おこな
交換を行いました。

だい き てーま さいがい としき がいこくじんしみん ひなんしえん がいこくじんしみん じょうほう
第7期のテーマは「災害がおきた時の外国人市民の避難支援と、外国人市民への情報
つた かつた ぐたいてき はな あ ぼうさい げんさい びでおみ おおさか
の伝え方」でした。具体的な話し合いができるよう、防災・減災のビデオを見たり、大阪
ほくぶじしん たいふう ごう ごう けいけん こま き かん かつぱつ
北部地震や台風21号・24号を経験して困ったことや、気づいたことに関して、活発な
いけんこうかん
意見交換をしていただきました。

はな あ かくいいん で いけん ほうこくしょ さくせい
話し合いのなかで各委員から出たさまざまな意見を、報告書として作成しました。

ねん がつ
2019年4月

とよなかしがいこくじんしみんかいぎ じむきょく
豊中市外国人市民会議 事務局

じんけんせいさくか
(人権政策課)

だい き てーま 第7期のテーマ

さいがい としき がいこくじんしみん ひなんしえん
「災害がおきた時の外国人市民の避難支援と、

がいこくじんしみん じょうほう つた かつた
外国人市民への情報の伝え方」

かいぎ だ おも いけん 会議で出された主な意見（まとめ）

じょうほうはっしん じょうほう じゅうじつ 情報発信、情報の充実について

にちじょう じょうほう 《日常の情報》

- ・ばんふれつと にほんごひょうき え る び がいこくじん おお
・パンフレットが日本語表記でも、絵やルビがあるとわかる外国人も多い。
- ・ほん も じ み びで お えいぞう み
・本や文字で見ると、ビデオなどの映像で見るとわかりやすい。
- ・にほんじん はな わせい えいご にほんご えいご
・日本人の話す和製英語や日本語英語がわからない。
- ・とよなか こくさいこうりゅうせんたー そんざい ひろ し ひつよう
・とよなか国際交流センターの存在をもっと広く知ってもらう必要がある。
- ・にほん なが す にほんじん がいこくじん こくさいこうりゅうせんたー びょういん
・日本に長く住んでいる日本人や外国人から、とよなか国際交流センターや病院や
がっこう じょうほう し きかい
学校の情報を知る機会があるという。

さいがい じょうほう 《災害の情報》

- ・さいがい じ に ひつよう か
・災害時にどうしたらいいのか、どこへ逃げたらいいのか、必要なものはどこで買え
ばいいのかわからない。
- ・しら つーる じょうほう こと ただ じょうほう はっしん
・調べるツールによって情報が異なることがある。正しい情報を発信することが
ひつよう
必要。
- ・ひなんじよ ちず じゅうよう ぽいんと たげんご ぼうさい がいどまっぷ
・避難所の地図や重要なポイントをまとめた多言語の防災ガイドマップや
ばんふれつと ほ
パンフレットのようなものが欲しい。
- ・せんきょかー つか ていでん しより しかた さいがいじょうほう はっしん
・選挙カーなどを使って、停電やごみ処理の仕方などの災害情報を発信したらいい
おも
と思う。
- ・さいがい じ じぶん いちばんちか ひなんじよ おし ぼうさいあぶり さいと つく
・災害時に自分から一番近い避難所を教えてくれる防災アプリ、サイトを作ればいい。

こみゆにてい ちいき コミュニティ・地域とのつながり

- ・いんたーねつと けいたいでんわ じょうほう て い ひと
・インターネットや携帯電話で情報を手に入れることができるから、人とかわかる
ひつよう すぐ がいこくじん こりつ
必要が少なくなり、外国人は孤立しやすい。
- ・さいがい じ ただ じょうほう はっしん ひと そだ おな くに ことば ひとどうし
・災害時などで正しい情報を発信できる人を育てたらいい。同じ国や言葉の人同士
あんしん きょうかん
で安心・共感できる。

- ・ SNS などで生活者同士のグループがあるといい。日常的に生活やイベントの情報共有や交流のために活用し、緊急時はそこで情報を掲載したり、交換したりできる。

災害を経験して思ったこと、気づいたこと

委員の皆さんが実際に平成30年(2018年)6月18日の大阪北部地震や、9月の台風21号、24号を経験されて、思ったことや気づいたことについてワークショップを行い、まとめました。

《災害が起こる前に必要と思うこと・もの・情報》

- ・ 日本語が不自由な外国人がわかるようなマップを配る（「防災マップ」があることを知らない人がいる）
- ・ 保存食、飲み物、ランタン、毛布、避難セット（服など）の準備をする。
- ・ 避難ルートや避難場所を知っておく。
- ・ 災害用伝言版の使い方や安否確認方法など、助けを呼ぶ方法を知っておく。
- ・ 母国語で情報がとれる場所を把握しておく。
- ・ 電機や水が停まる可能性とその準備の仕方をしておく。
- ・ いつ災害が来てもいいように、同じ準備をしておく。

《災害が起きた後に困ったこと》

- ・ 地震が起こるときにどこにどのように避難したらいいのか分かりにくい。
- ・ 地震の後に電気が通っても、電話が繋がらなかった。
- ・ 保険が適応するかどうかはわからなくてそのまま申請しなかった。
- ・ 余震などがあって、もっと大きい地震が来るのが不安だった
- ・ 台風が終わってからもアナウンスが無く、安心できなかった。
- ・ 台風のと看、店が閉まるのが早くて困った。
- ・ 台風の影響で3日間停電したので会社も3日休んだ。

《災害が起きた後に必要と思うこと・もの・情報》

- ・避難するタイミングや子どもを迎えに行くタイミングを母国語で教えてほしい。
- ・断水、停電対策、充電器、携帯電話
- ・自分の言語で情報をメールやスピーカーで教えてほしい。
- ・空を飛ぶごみから自分や家の守り方を知りたい
- ・ガラスが割れると危ないので注意する。
- ・ベランダの植木鉢や物干し竿が飛ばないようにする。
- ・TVやネットでの台風の状況が1時間ごとなので、常に台風の状況を把握しておきたい。

《これから自分で準備すること》

- ・避難ルートと場所を家族と決めておく。
- ・サバイバルのテクニックを学ぶ。
- ・家具などの物を固定する。
- ・友達とSNSなどで情報をシェアし合う。
- ・台風の時、カーテンをしめる。

《これから豊中市・国際交流センター・地域にしてほしいこと》

- ・災害が起きてすぐに、メールやスピーカーでどうすればいいか教えてほしい。
- ・その後の心のケアのためのカウンセリングがあればいい。
- ・災害の前の準備のためのワークショップをしてほしい。
- ・非常事態に公的施設を避難所として市民に開放してほしい。
- ・台風で壊れた水道管の修繕が遅かった。
- ・食べ物の供給をしてほしい。
- ・正しい知識、情報を持っている各国の代表がいると情報が伝わりやすい。
- ・母国語での情報を増やしてほしい。
- ・防災に関する問題集があるといい。